



「陽だまり」室内の様子



オープニングセレモニー

# 「陽だまり」OPEN!!

2024年3月30日(土)、鹿児島市喜入に、喜入旧麓交流館「陽だまり」が誕生いたしました。

昨年度、7月に鹿児島市の業務委託を受け、「西建設で改修した古民家の空き家」です。にしげん通信をご覧の皆様には、DIYワークショップのご案内などを通してお伝えしておりましたが、この度晴れてオープンとなりました。

「陽だまり」誕生まで、喜入旧麓集落は日本遺産に登録されている集落でもあり、地元の方々が訪れた方々に「旧麓をもっともらおう」という気持ちでボランティア活動の一環で集落のガイドを行っておりました。その活動の中で、案内所や、ガイドの最中に一息つく休憩所がないなどお困り事が発生し、鹿児島市喜入支所にも相談して、今回この喜入旧麓交流館「陽だまり」の案が生まれました。

## 空き家から交流館へ

空き家の状態であったこの建物を初めて確認に行き感じ目にしたものは、雨漏りもなく、これといった損傷もないまだ使える状態で、この部屋から「まだまだ、使えるよ」と言われているような気がしました。改修工事が始まり天井板を抜くとそこには、立派な梁が隠れていました。築約70年以上も前の梁からは、いまだに松脂(まつやに)も出て来ていて、梁材としてまだまだ現役だと家が話しかけているような状態でした。

古民家につきものの、寒いを少しでも解消できるように今回の改修工事の際には断熱の処理も行いました。古民家ではありますが、現代の工法を織り交ぜたハイブリットな建物に、生まれ変わりました。

令和5年11月には、一般の方にもDIYワークショップに参加いただき、昔懐かしい、三和土(たたき)土間を作成しました。その日は、地元の方々のご協力を頂き、おにぎりとお吸い物をご用意し、大勢で食べるご飯の味は格段と美味しかったです。

令和6年2月には、漆喰塗りのワークショップも開催し、県内外からたくさんの方にお集まりいただき、白い漆喰により室内が明るくなりました。オープン前から、人々の交流する場となっていた「陽だまり」です。これからも、たくさんの人と人が交流する場に、また繋ぐ場になっていくと思っています。

## 「陽だまり」にはどんなサービスがあるの？

「陽だまり」では、地元のお母さん方が作る、団子とコーヒーを飲食できます。また、事前にご連絡をいただければ喜入旧麓、日本遺産登録のガイドもお願いできます。

ここで、働いているお母さん方の平均年齢は70代オーバーの方々ですが、持ち前のお人柄から出る安堵感はどこか故郷に戻ってきたような気分になります。

そんな「陽だまり」にご家族、ご友人、大切な方と一緒に掛掛けてみませんか？



喜入旧麓交流館  
陽だまり

鹿児島市喜入町7868

Instagram icon hidamari\_202403



お家の相談コミュニティ

てくてく 便り

鹿児島市中山731番地  
(ヤマト運輸 中山営業所近く)

Wi-Fi  
完備

昨年7月に始まった、ウクレレ教室。いよいよ皆様の前で、お披露目演奏会が開催されることになりました!!

お披露目する演奏曲は「風になる」(スタジオジブリ「猫の恩返し」主題歌)、「ベストフレンド」(NHK朝ドラ「ちゅらさん」主題歌)の2曲になります。2曲とも、皆さん一度は聞いたことがある曲ではないかと思えます。平均年齢50代の私たちの演奏を聞きに来てください!!

## ウクレレ教室

レッスン時間:45分

※ウクレレをご持参ください。

6/8 ± 10:00~  
6/15 ± 10:00~  
6/22 ± 10:00~

参加費  
300円



## お披露目演奏会開催!

演奏時間内に自由スタイルで演奏しますおお気軽にお越しください!

[日時] 6/23日 会場13:00/演奏13:30~16:00

[場所] ニッセイギャラリー稲音館

鹿児島市下田町1879

入場料  
1500円



## ヨガ教室・フラワーアレンジメント・ウクレレ教室 参加者募集中!

### 上野 じゅんこ先生の ヨガ教室

レッスン時間:60分

※動きやすい服装で。マットはこちらで準備しております。

6/8 ± 11:00~ 6/11 火 11:00~  
6/19 水 11:00~ 6/28 金 13:00~

参加費  
1,600円  
月1回施設料  
300円

### フラワーセラピスト 響花先生の お花の教室

レッスン時間:120分

6/11 火 19:00~

※体験レッスン5,500円(花材・器代込)  
詳細はお問合せください

参加費  
4,400円  
(花材・器代込)

お問合せ

090-7167-9382  
西建設 宇治野まで



@teku\_tech



参加お申込みはこちらのQRコードから▶  
てくてく~teku-tech~InstagramからのDMでも受け付けております。



あなたの周りの方に  
西ちゃんのイネ!を  
ぜひお伝えください。

例えば...

ご親族・お勤め先・お友達  
ご両親 同僚 学生時代  
兄弟 先輩 地域  
親戚 取引先 サークル

ご相談  
お見積  
無料

相談しやすさNo.1の  
住まいる西ちゃんに  
ご紹介ください!

(裏面あり)▶



住まいる西ちゃんの  
西建設

鹿児島市紫原6-34-10  
099-255-5315  
窓口受付10:00-15:00 月~金



住まいのお役立ち情報 放送中!  
住まいるにしちゃん  
教えて!リフォーム



## 第4回 海の清掃

「SDGs」への取り組み



令和6年4月24日(水)日置市江口浜で5回目となる海の清掃活動をお天気の関係で10:00~11:00(60分)実施いたしました。

今回は、西建設のお客様とご縁のある方と1匹(かわいいワンちゃん)が一緒に活動していただきました。前日に雨が降っていた砂浜に落ちているごみは水も含んでおり、過去の清掃活動の時より、ごみ袋が重かった気がします。

同じ場所でゴミを拾い続けて5回目。「まっちゃん」こと、松本課長が、「5回も同じ場所で清掃活動しているから、今回は以前よりごみの量が減っているでしょ!？」と思っていたようですが、現実そんなに甘くはなく、2トダンプの荷台が半分以上埋まるごみの量で、本当に驚いたそうです。

同じ場所でゴミを拾っていますが、海も陸も同じことが一つ言えます。捨てるもゴミは、また次に拾いに行くとき落ちてくるんです。捨てる人がいれば、捨てる人もいるということですね。

海の場合は、日本だけではなく海外からの漂流物もあるので、毎回活動中に思うのは「世界でこのごみを減らす活動しないことには、、、。」と目には見えない大きな壁にぶつかります。未来の子ども達から、今生きている私たちは、この豊かな自然を預かっているのだから、今後も、微力ながらもこの活動をコツコツと続け、この豊かな自然を少しでも残してバトンタッチしてゆきたいと考えます。



まだまだ見つかる「ごみ」

## 第3回 陸の清掃

コツコツと海と陸の清掃活動を行い、今回陸の清掃は、鹿児島建設新聞「地域貢献活動」へ投稿いたしました。令和6年4月22日(月)午前9:00~10:00まで西建設のある紫原6丁目から7丁目にかけてゴミ拾いを実施。コロナ過があけて落ちているごみも様変わりしていました。

以前は、マスクを多く拾いましたが、今回はペットボトルや空き缶、飲食後の竹串や紙袋、タバコの吸い殻といったゴミが多く落ちていました。ゴミ拾いをしてるとバスを待っている方や、散歩中の方々から声をかけてもらいました。ゴミ拾い=声をかけてくださる=捨てないでおこう。又は、自分も気づいたら拾ってみよう。と思っていただ



けたのではないかと今回のゴミ拾いの活動を通して感じました。

次回の陸の清掃は、令和6年7月22日(月)9:00~同じく、紫原周辺のゴミ拾い活動を予定しております。興味のある方は、お気軽に西建設迄お問い合わせくださいませ!!

参加者募集中!

次回の「海の清掃活動」は令和6年7月予定!

詳しい日程が決まり次第、西建設ホームページ・Facebook・Instagramで発信いたします。お気軽に、お電話でもお問い合わせいただければ、「みんなの森P」こと、森岡さんが対応させていただきます。

[日 時] 7/22 月 9:00~

[場 所] 紫原周辺 [集合場所] 西建設前

[お問合せ] 099-255-5315 西建設

## 二十四節気\*夏【夏至】 from staff blog

皆さんこんにちは。コツコツコミュニティ☆宇治野です。ここ最近、西建設では体調不良を訴えるスタッフがちらほら…。筆者の宇治野も、最近なかなか心地よい睡眠時間を得ることができなく、先週は、夢の中でも踏んだり蹴ったりで寝起しも散々でした。

季節は、梅雨真っ只中ということもあり、晴れたかと思っても夕方にかけて雨が降ったり、夜中に雨音で目が覚めたりと、「自然の動きに私たちの体が密に絡んでいるんだな〜」だなんてちょっとおセンチなことを書いてみました(♡♡)ホッ

6月21日は、~二十四節気の一つ、【夏至】ですね。1年で最も夜が短くなる日でもあります。この日を榮に、今度は冬至に向けて、太陽の日差しは遠のいていくことにもなりますね。

私たちの暮らす鹿児島県では、これから冬至の前に猛暑と台風シーズンと、蒸し暑い残暑が待っています。

最近の夏は、室外ではもちろんですが、室内にいても熱中症の症状を発症される方々のニュースを耳にします。室外では、暑さを実感するので水分補給や日陰での体温調整を気にはしますが、室内では気づかないうちに、脱水症状になったりしてしまうそうです。実は、私の父も、室内にいて熱中症になった一人です。数年前の夏に、熱中症になり入院までしました。

父に代わり、皆様へ【ここは気を付けてのポイント!】を紹介させていただきます!!



### 気を付けるポイント 熱中症

#### 1 温度と室温にきをつけて適温に!

夏は室温25~28℃、湿度50~60%が理想的とされます。

#### 2 こまめな水分補給を忘れずに!

室外に比べて、室内では汗もあまりかかないため、のどが渴いたと感じることも少ないですが、こまめに水分、塩分、スポーツドリンクなどを補給しましょう!



普段は、お家のメンテナンスについてや空き家発生抑制についてといったことなど、お家をメインでブログを書き込んでいますが、今回は皆さんの体についてのみ触れさせていただきました。

やっぱり自分の体が健康で元気でないと他の事に動き出すことは難しいので、皆さんもくれぐれもお気をつけてくださいね!!コツコツコミュニティ☆宇治野でした!!

staff blog

西建設ホームページでは、スタッフ全員がブログを掲載しています。こちらのQRコードから読み取りください。  
<https://nishi-kensetu.co.jp/blogstaff>



# 人吉探訪

第三弾

にしちゃん  
五感で感じる旅

2024.5月 備忘録

## 「人吉」のご縁



中小企業大学校 人吉校 (施設ホームページより)

2017年~2019年経営合宿地!

西建設は、2015年から決算期に合わせて毎年8月に「経営計画発表会」を開催しております。また、全社員がそのための「合宿」をしております。

1泊2日の「缶詰状態」で、経営に関する事に特化して行います。会社内で会議を行うと、「ちょっと現場に行きたいので、現場に顔を出して直ぐ帰ります…」とか「協力業者にちょっと連絡を…」とか携帯電話を握ることが多かったりして、会議に集中できる状況ではない!

ということで、少し離れた所で行う事にしておりました。最初の2年間は「霧島」、2017年より、合宿先を「人吉」にて実施しておりました。



2019年 しらさぎ荘にて



2019年 人吉での合宿の様子

## コロナ到来、そして…

そんな中、2020年の春から新型コロナウイルスの国内蔓延で、世の中はこれまでと違った生活を余儀なくされました。2020年6月には合宿受入れ先の「中小企業大学校人吉校」に問い合わせ、コロナ渦の中での条件付きで受入れ可能との回答を得て、2020年7月10日~11日に経営計画合宿の為の予約をしておりました。

6月30日の定例会議後も、いつも利用させて頂いていた夜の食事会会場の築100年の古民家のある「しらさぎ荘」もバッチリ予約確認出来ておりました。

ところが、その数日後の2020年7月、皆様も記憶に新しい「令和2年7月豪雨」が、7月3日には鹿児島県、4日未明に熊本県南部を襲いました。中でも、人吉市は7月4日の豪雨による球磨川の氾濫で市内は甚大な浸水被害となりました。

7月6日に研修先の中小企業大学校人吉校に、確認をした所、「一昨日の豪雨で、地域の方々の避難先となり研修は無理です!..よって予約はキャンセルさせていただきます!」…。

「えっ、大学が避難先の宿泊所!?!」…「仕方ない…。人吉での経営計画合宿は中止するしかない…」

そうなると夜の食事会先の「しらさぎ荘」にも連絡しなきゃ!…と。電話のコールはすれども応答なしの状態。気持ちが落ち着かないままインターネットで、人吉市内の浸水状況を調べると、明らかに浸水被災されている模様…。

コロナ禍もあり、こんな状況下では「経営計画発表会」自体も開催する事を断念することになりました。

(次年度も、コロナ渦において「経営発表会」は断念…。)



令和2年7月熊本豪雨災害前のしらさぎ荘(しらさぎ荘ホームページ:しらさぎ荘の歴史ページより)

## 人吉へ再来

一昨年、「経営計画合宿」・「経営計画発表会」は、復活開催しましたが、私の心中は人吉の「しらさぎ荘」の運営が気になっておりました。被災後も、再会を目指して頑張っておられることは、インターネット等で知っていましたが、具体的な支援も出来ずにモヤモヤしておりました。

そんな中、4月中旬に弊社のコンサル顧問である二木氏が「しらさぎ荘」に行ってきたよ〜と、宿の素晴らしさを根掘り葉掘り聞かされました!「お湯がよかど〜」、「料理も食べきれんほど味わったど〜」、「やっぱり、訪ねて行くことは大事やっど!」…と(^.^)

居ても立っても居られず「私もこの目で確認!!」と、4年ぶりに人吉を訪ねて参りました(\*^^\*)

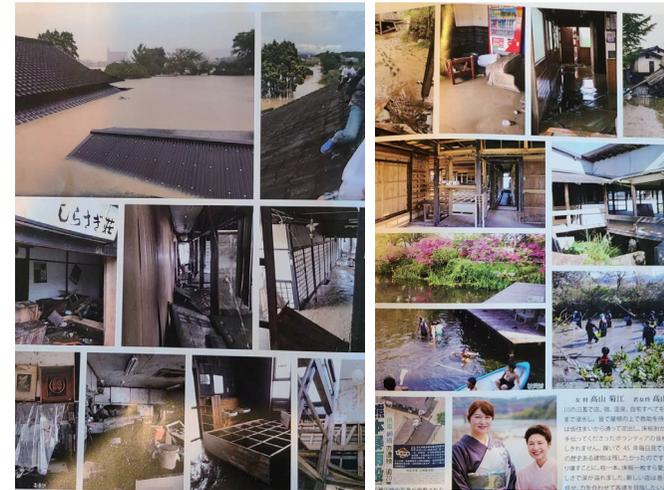
鹿児島から車を飛ばして1時間30分、変わらぬ田園風景の中、同じ場所で新しい「しらさぎ荘」が私を迎えてくれました。築100年の古民家は、残念ながら取り壊されておりましたが、フロントや食事処は鉄筋コンクリート造のなか、古民家風に造作されており、当時を思い起こす風情が残されておりました。手厚い出迎えを受け、早速二木氏自慢の温泉へ!

「いや〜マジにいい湯だわ〜(\*^^\*)」

サッパリしたところで、二木氏自慢の食べきれないほどの晩御飯を!と、食事処へ…。

食事処では、既に食事をされているお客様も…。益々楽しみは募る中、仲居さんの衝撃の一言が。

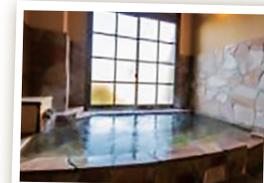
「西様、西様は予約時に夕ご飯をお申込みになられておりませんが…」「え〜!..そんな〜」…数秒間、頭の中は



被災直後のしらさぎ荘 (しらさぎ荘2Fの雑誌より)



現在のしらさぎ荘 (撮影者:西)



しらさぎ荘 はなれの内湯 (しらさぎ荘ホームページより)

真っ白状態(°Д°) パソコン上で予約をしたのですが、私の指が朝御飯のみを予約したようです。その様子を見かねた若女将が、「あいにく、食事処は満席。夕ご飯を準備することが叶いません…」と、近くの居酒屋さんを丁寧に教えてくれました。

温泉上りの浴衣から、そそくさと着替えて部屋を出ようとしていた矢先に、先ほどの若女将が、わざわざ部屋まで訪ねてきてくれて「西様、板場と掛け合っただけですが、あと1時間待っていただければ、夕ご飯を準備出来ます。」「部屋食となりますが、よろしいでしょうか?」…と。

もちろん、二つ返事!「是非よろしく願いいたします。(\*^^\*)」

つい先ほどまでは、「温泉宿も満足に予約できないじい」という「人生の汚点」を残してしまった(;\_ \_)と、がっかりしていたのですが、まさしく若女将が救いの女神に見えた瞬間でした!

しばらくすると、鯉のあらい、ヤマメの刺身、馬刺し、牛ステーキなど、ぞくぞくと配膳して頂きました!!

心からのおもてなしに、心も身体もすっかり癒され極上のひとときを過ごしました。チェックアウト後も、私の車が見えなくなる迄、若女将を始め従業員の方々が見送ってしてくれました。



(撮影者:西)

「しらさぎ荘」に訪れる事が出来て、4年間心にわだかまっていたモヤモヤも「安堵」に変わり、近いうちにまた訪れる事を心に約束しました(\*^^\*)

(裏面あり)▶

球磨川くだりの発船場前の浚渫状況 (撮影者:西)



### さて、人吉市内の状況は？

人吉市内の風景は、パッと見は被災の跡も見受けられず、何も変わっているようではありません。ところが、人吉中心部の球磨川の船着き場「HASSENBA」の目の前では、未だに河床の浚渫が行われておりました。かつての急流の面影はなく、人工的につくられた「土嚢」で流れは食い止められ、一見「緑の池」のようでした。

発船場 (HASSENBA) (撮影者:西)



梅花の渡し (水面より) からの一枚 (撮影者:西)

先ずはお決まりの球磨川下り (梅花の渡し) を体験。船頭さんの語りでは、浚渫の影響でまだ濁ってはおりましたが、この工事が間もなく終わると、透き通った勢いのある流れが復活するそうです。



川下り船頭さん

(撮影者:西)

昼食は、市内の「丸一蕎麦屋」で、ざるそばと名物の山芋トロロ丼 (小) をペロリ…。



丸一蕎麦屋

丸一蕎麦屋ホームページより

### 「相良藩700年の歴史」

人吉市の歴史は、鎌倉時代初期の1193年に相良氏が人吉の地頭に任ぜられたことに始まるそうです。人吉城に居城した「相良氏」700年の歴史を知りたくて、市内のお寺さんや観音様めぐりました。

最初に、初代相良長頼を筆頭に相良家歴代当主の墓がある「願成寺」を訪れました。当主の妻、親族を含め250基の墓石が配されています。併設されている「相良三十三観音巡り第一札所:清水観音」にもお参りました。



願成寺

(一社)人吉球磨観光地域づくり協議会ホームページより引用



相良家の墓 (撮影者:西)



永国寺 蓮池 (撮影者:西)



青井阿蘇神社 禊橋より鳥居を見る (撮影者:西)

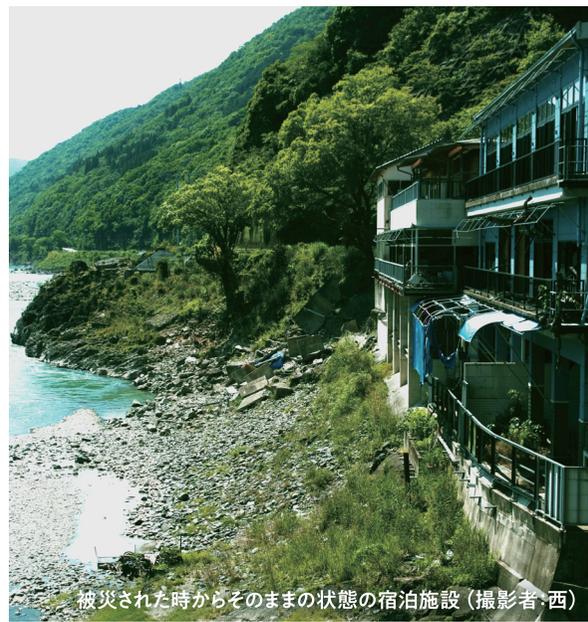


永国寺

【公式】熊本県観光サイトより引用

次に、「永国寺」を訪ねました。ここは、通称「幽霊寺」…(・□・;) 幽霊が出たと言われる蓮池は蓮の花が咲き始めており、つつじや桜も楽しめる四季を感じる事の出来る風情のある池でした。とても「幽霊が出た!」なんて、想像できません。また、西郷隆盛が西南戦争時田原坂で敗れ撤退する時の陣宿でもあったようです。

そして、国宝に指定されている「青井阿蘇神社」に参りました。大鳥居の前の蓮池をまたいで架けられた「禊橋(みそぎはし)」の欄干は真っ赤な朱色に塗り替えられておりました。話を聞きますと、先の水害時にはこの欄干も押し流されたそうです。ここに立ち、自分の目で周りを見渡すと、ほぼ全域の家屋が浸水被害に遭ったことがよくわかります。浸水の傷跡はもうみえませんが、ここに立つと「市民の方々が、よくここまで復興されたんだな～」と感嘆致しました。



被災された時からそのままの状態の宿泊施設 (撮影者:西)

時間があつたので、球磨川下流域にも車を走らせてみました。すると景色は一転しました。被災後、放置された宿泊施設…、鉄橋は流され跡形もなく、橋台のみが残され、しかもその上には丸太が横たわったまま…。山肌があらわになり、復旧途中の治山工事が行われておりました。さらに下流を進むと、跡形もなく流された橋の横で、新しい架橋工事施工中…。この目で確認してきた下流域に関しては、まだまだ復興半ばであり、地域の方々の生活はまだまだ不便さと災害に対する不安があるのでないかと感じました。この原稿を書くにあたり、球磨川流域の復興状況を調べてみましたが、今も上流のあさぎり町、下流の球磨村、芦北町、八代市も復興途中のようです。

以前、にしけん通信26号:2022年10月で記事にした「本物を見る! 鹿児島→仙台」で、東北の被災地を11年後に訪れた事を記事にしました。その時に書いた中に【被災地を訪れ、自身の五感をフルに活用し、感じる事で被災地に心を寄せることになる】と自ら記しておりました。この探訪で感じた事は、あらためて「被災地に行くこと!」であり、今後も、被災された方々に心を寄せ、日頃より防災について考え啓蒙していくことの重要性を感じました。



鉄橋を支えていた橋台に丸太が乗ったままの状況 (撮影者:西)

(裏面あり)▶